

名 称：市町村森林整備計画に関する意見交換会
日 時：令和5年8月31日（木）午後3時～4時半
会 場：大館市北地区コミュニティセンター 別館 多目的室
参加人数：34人（うち事務局6人）
要 旨：主な内容は以下のとおり

1 開会 事務局長 小棚木 信晴（大館市産業部林政課長）よりあいさつ。

2 説明

(1) 大館市森林整備計画の概要について 説明者：大館市産業部林政課

・4月よりスタートとした新計画の概要、前計画の達成状況（平成30～令和4年度末）、今年度における計画変更スケジュールについて説明。

(2) 大館市森林整備計画実行監理業務について 説明者：住友林業(株)※大館市委託業務受注者

・「森林整備計画の実行によるゼロカーボンシティ宣言への貢献度評価」及び「再造林推進に向けたゾーニング（案）」の2点について検討状況を説明。

3 意見交換

コーディネーター：秋田県立大学木材高度加工研究所 所長・教授 高田 克彦 氏

・新計画を踏まえ、大館市有林の伐採計画（森林経営計画）も増加するのか。また、CO₂吸収量の計算方法については都度見直しを行っていくつもりなのか。【木材加工事業者】

⇒市有林はゾーニングの結果を踏まえて検討することとなる。CO₂については林政課として再算定したものであり、今回の計算手法で関係者の合意形成を図る予定。【大館市】

・CO₂吸収量のシナリオについて伐採面積150haは可能と思うが、再造林・保育については厳しいと思われる。【森林組合】

4 その他

・活動状況、補助事業2件採択（顔の見える木材供給体制構築事業、地域における非住宅木造建築物整備推進事業）について報告したほか、大館市より「森林整備計画」及び「木材利用促進計画」に関するアンケートへの協力について依頼。

5 閉会

写 真：



写真1 計画概要説明の様子



写真2 意見交換の様子